

認知症に関する 市の取り組みを紹介します

高齡福祉課高齡者福祉係（市役所1階⑤番窓口 ☎82-3196）



認知症は、脳の病気や障がいなどさまざまな原因で認知機能が低下し、日常生活に支障が出てくる状態をいいます。

2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれるほど、誰もがなる可能性のある身近なものです。市では多くの方に認知症について知ってもらうための取り組みを行っています。

認知症ガイドブック

認知症の基本的な知識、認知症の方への対応方法、認知症を診断できる医療機関や治療について掲載しています。

ガイドブックは担当窓口で配布しています。

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を見守る「応援者」です。市ではサポーター養成講座を開催し「認知症の基本的知識」や「認知症の方への対応方法」などを学んでいただけます。

サポーター養成講座の開催依頼を随時受け付けていますので、友人同士や会社の仲間と認知症について学んでみませんか。

開催人数 5人以上

料金 無料

申込先 高齡福祉課高齡者福祉係（☎82-3196）

認知症介護者のつどい「つくしんぼう」

「つくしんぼう」は認知症を介護している方が集い、それぞれの経験や悩みを話し合い交流する場です。同じ経験をした人と話すことで気持ちが楽になったり、解決策が見つかることがあります。お気軽にご参加ください。

開催日時 毎月第2火曜日

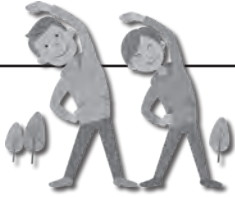
午後1時30分～3時

※新型コロナウイルスの感染状況などで、開催を見合わせる場合があります

場所 市民活動センター

申込方法 電話でお申し込みください。

申込先 地域包括支援センター（☎21-7755）



アクティビティ（音楽教室）に参加しませんか

☎ 社会福祉協議会 (☎22-4124)

音楽に合わせて、リズム体操や音楽レクリエーションを行います。
コロナ禍で運動不足になり、ストレスがたまりがちですが、音楽を通して楽しみながら心身をリフレッシュしませんか。
健康づくり仲間づくりの機会に、ぜひご参加ください。

日時

- 第1回 5月17日(水)
 - 第2回 6月21日(水)
 - 第3回 7月19日(水)
 - 第4回 9月20日(水)
 - 第5回 10月18日(水)
 - 第6回 11月15日(水)
 - 第7回 12月20日(水)
 - 第8回 令和6年1月24日(水)
 - 第9回 令和6年2月21日(水)
 - 第10回 令和6年3月19日(水)
- 各回 午前10時30分～11時30分

場所

市民活動センター

対象

おおむね65歳以上の高齢者で実施場所まで自分で来られる方

申込先

社会福祉協議会 (☎22-4124)

その他

マスクの着用をお願いします。



「もしかしてネット」にご協力ください

☎ 高齢福祉課高齢者福祉係 (市役所1階☎番窓口☎82-3196)



イメージキャラクター
「もしカくん」

「もしかしてネット」は、高齢者の異変に気が付いた場合の連絡や徘徊などで行方が分からなくなった高齢者の捜索を、市内で配達などを行っている事業者が協力してもらおう見守り活動のことです。

郵便・新聞・宅配便・クリーニング店などの日頃市内を回っている事業者のほか、市内のコンビニエンスストアや介護保険・障がい者サービス事業者、FMびゅうなど、130を超える事業者が協力事業者として登録いただいています。皆さんのご協力が、高齢者の異変の早期発見に大変役立っています。今後も見守り活動に参加していただける事業者には、ご協力をお願いします。また、市民の皆さんも近所で高齢者の異変に気が付いた場合の連絡に、ご協力をお願いします。

具体的な動きの例

協力事業者の場合

「新聞が数日たまっていないけれど室内で倒れているのではないか」

← 地域包括支援センター(☎21-7755)に連絡

← 地域包括支援センターが市に連絡
市が安否確認

徘徊などによる 行方不明高齢者の捜索

「認知症の家族が散歩に行ったまま帰ってこない」

← 家族などが警察に通報

← 警察から市に捜索協力

← 市が協力事業者にFAXで一斉に情報提供

← 協力事業者が業務の範囲内で捜索協力
迅速な発見へ